**講演論文集原稿の作成方法について（2021年改訂版）**

茨城花子\*，大塚太郎\*\*，筑波次郎\*，東京月美\*3,#，

鍛冶雪江\*4，新潟三四郎\*\*,\*5,6

\* 産総研，\*\* 地科研，\*3 都立大・都市環境，\*4物理計測コンサルタント，

\*5 石油資源開発，\*6 新潟大・院・自然科学

# 現所属：川崎地質

**Instruction of How to Make the Extended Abstract (ver. 2021)**

Hanako Ibaraki\*, Taro Otuka\*\*, Jiro Tsukuba\*, Tsukimi Tokyo\*3,#,

Yukie Kaji\*4, Sanshiro Niigata\*\*,\*5,6

\* AIST, \*\* JGI, Inc., \*3 Faculty of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan Univ.,

\*4 Geophysical Surveying Co. Ltd., \*5 JAPEX, \*6 Graduate School of Science and Technology, Niigata Univ.

# Present address: Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd.

**Abstract:** English abstract should be written here. The abstract should be 100-200 words by Times New Roman (or Times) font with standard style and 11pt size. Please locate a word "Abstract: " at the beginning of sentence by Times New Roman (or Times) font with bold style and 11pt size. You need to keep a margin more than 20mm on both left and right sides.

**1. 一般情報**

　論文集の体裁を整えるため、原稿は，このテンプレートに従ってA4版の大きさで作成して下さい．

　提出は，PDFファイル形式に変換の上、当学会Webサイトからアップロードして下さい．なお、PDFファイル形式での提出やオンラインでアップロード出来ない会員の方は、学会事務局までご連絡下さい．

　原稿には，和題名，和著者名（所属），英題名，英著者名（所属），英文のアブストラクトおよび本文を記載して下さい．

　原稿枚数は，A4版用紙で2～4枚にして下さい．また，PDFファイルの容量は5MB以下にして下さい．

　図表にはカラーを使用可能ですが，題名，著者名，所属，アブストラクト，本文，キャプションには，黒色のフォントを使用して下さい．

　講演プログラム名は，講演申込書により作成しますので論文集の題名，著者名は講演申込書と同じものを用いるよう注意して下さい．

**2. ページサイズと余白**

　原稿は，A4用紙の大きさで作成して下さい．

論文集の小冊子は，本原稿をB5版に縮小して印刷します．従って文字の大きさに注意するとともに，原稿を鮮明に仕上げて下さい．

　1ページ45行を目安として下さい．

　題名の左には，空白を20mm以上とって下さい．

　最初のページの上余白は25mmとってください．発表番号（論文番号）が入ります．

　それ以外の原稿の上下余白は18mm以上にしてください．

　原稿の左右の余白は，15mm以上にして下さい．

　なお、ページ番号は付けないで下さい．

**3. 題名，著者名（所属）**

　原稿には，日本語と英語の両方で，題名と著者名，所属を記載して下さい（Table. 1）．

Table. 1 Font format of the title, author(s) and affiliation(s).

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | フォント | スタイル | サイズ |
| 和題名 | ゴジック体 | 太字 | 14pt |
| 和著者名 | ゴシック体 | 標準 | 12pt |
| 和所属 | ゴシック体 | 標準 | 10pt |
| 英題名 | Times New Roman  （またはTimes） | 太字 | 14pt |
| 英著者名 | Times New Roman  （またはTimes） | 標準 | 12pt |
| 英所属 | Times New Roman  （またはTimes） | 標準 | 10pt |

　題名，著者名は中央揃えにして下さい．

　著者名は，論文への貢献順に記してください．

　発表者には，著者名に下線を付けて下さい．

　所属は著者名の右肩に上付き\*を付けて対応づけてください．複数の所属がある場合は，\*，\*\*，\*3，\*4...として著者名と所属を対応づけてください．必要に応じて，（株），（有），（公財），（一財），（独），（国研）等の略語を用いても構いません．

　所属についての参考情報（現所属等）がある場合は，所属欄を改行後，#, ##, #3…を使って，\*と同様の対応関係を付けて記載してください．

　題名－著者名間は1行開けて下さい．

**4. アブストラクト**

　英文アブストラクトを英著者名と本文の間に入れてください．

　アブストラクトは，一段組にして下さい．フォントはTimes New Roman（またはTimes）で，標準スタイル，11ptのサイズを使用して下さい．

　原稿の左右の余白は，20mm以上にして下さい．

　なお，アブストラクトの先頭には，太字スタイルで「**Abstract:**」を付けて下さい．

**5. 本文**

**5.1 段組**

　本文は，二段組にして下さい．

　各段落の先頭は，一字分下げて（インデントして）下さい．

　段組みの設定では，段数2段とし，段の幅22文字を目安としてください．

　フォントは日本語文字が明朝体，英数字がTimes New Roman（またはTimes）を，標準スタイルで11ptのサイズで使用して下さい．

　句読点は「，」・「．」を使用して下さい．

**5.2 章立て**

　本文は章立てを行い，各章題を付けて下さい．章題には番号（「**1.**」，「**2.**」など）を付け，左詰め配置して下さい．フォントは，ゴシック体を太字スタイル，11ptのサイズで使用して下さい．

　節題についても番号（「**5.1**」，「**5.2**」など）をつけ，フォントは，章題と同様にしてください．

**5. 図表**

　図表は，白黒・カラーいずれでも使用可能です．

　論文集の電子ファイルでは，原色のまま掲載されますが，論文集の冊子版にはB5版に縮小され，白黒印刷されます．

　図表には，それぞれ番号とキャプションを付けて下さい．希望があれば，キャプションは英文でも構いません（Fig. 1）．

図のキャプションは，図の下部に左詰配置して下さい．フォントは，日本語文字が明朝体を，英数字がTimes New Roman（またはTimes）を標準スタイル，11ptのサイズで使用して下さい．なお，行間隔を12ptに固定すると体裁が整います．

　表のキャプションは，表の上部に図と同様の行間隔，配置とフォントを使用して下さい．

　図表は，本文で最初に参照した付近に挿入しても，原稿の最終ページに添付しても構いません．

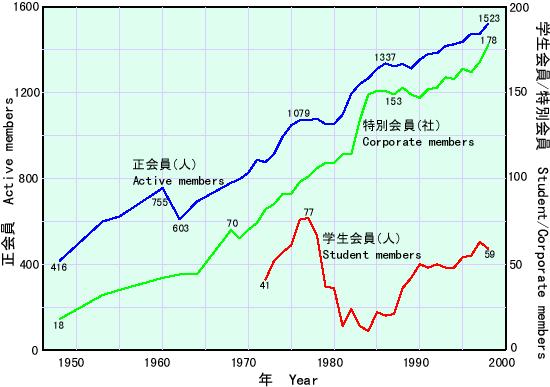


Fig. 1 History of number of members in SEGJ.

SEGJ have been keeping a constant increase for both active and corporate members.

**6. 数式**

　数式には，式(1)のように，右詰で番号を付けて下さい．複数の数式は，それぞれ別の行としてください．数式のフォントは，14ptを基本サイズとしてください．

(1)

**7. その他**

　謝辞・参考文献は，本文の後に記載して下さい．参考文献は，著者名（姓・名），発行年，題名，学会誌名，巻，ページの順に記載して下さい．フォントは，本文と同じものを使用して下さい．

**8. PDFファイル変換**

　作成した原稿は，PDFファイル形式に変換して，会告に記載の方法で提出して下さい．

　PDFファイルの容量が5MB以下となるように，図表類の解像度を調整してPDFファイルを作成して下さい（5MB以上のファイルは，アップロード出来ません）．

　PDFファイル作成時に，「フォントの埋め込み」を必ず設定してください．原稿が文字化けしても，当学会で責任を取りかねます．PDFファイル作成時の「フォントの埋め込み」は，PDFを作成するソフトウエアやその設定により異なりますが，Adobe社Acrobatの場合「PDF設定」の項で「プレス品質」や「高品質印刷」を選択することにより，使用する全てのフォントをPDFファイルに埋め込むことが可能となります（デフォルト設定の場合）．なお、「標準」では、全てのフォントが埋め込まれるとは限りません．実際のフォント埋め込みは「編集」-「フォント」のメニューで，「すべてのフォントを埋め込む」を選択すると共に，「常に埋め込まないフォント」にフォントが設定されていないことをご確認ください．

　PDFファイル作成時に，PDFセキュリティでパスワードの設定等を行わないで下さい．当学会で論文集を電子ファイル化する際には，印刷のみを許可する制限を設定して配布します．

　PDFファイル形式への変換や，会告に記載の方法で提出の出来ない会員の方は、学会事務局までご連絡下さい．

**謝辞**

　本文と同じフォントを使用して下さい．

**参考文献**

Zhou, H., and McMechan, G. A. (1997) : One-pass 3-D seismic extrapolation with the 45o wave-equation, *Geophysics*, **62**, 1817- 1824.

van der Sluis, A., and van der Vorst, H. A. (1987) : Numerical solution of large, sparse linear algebraic systems arising from tomographic problems, Seismic Tomography, Nolet, G. ed., Reidel, Dordrecht, 49-83.

茨城花子・筑波太郎・江東次郎・東京三郎・新潟四郎 (2005) ：講演論文集原稿の作成方法について, 物理探査，**58**，4，1750-1753.